

週報①

広島市医師会臨床検査センター受託分 感染性胃腸炎検出状況

検出菌 ウイルス	2023年												2024年		
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月 ~4日	2月 ~11日
カンピロバクター	48	30	46	63	57	67	75	49	29	47	43	65	20	5	8
病原性大腸菌	47	37	55	103	120	108	102	56	52	49	80	102	43	12 (13)	17
腸管出血性大腸菌	1	1	4	1	0	1	0	1	1	0	0	0	0	0	1
サルモネラ	7	2	2	7	7	13	25	6	12	15	6	9	4	2	1
黄色ブドウ球菌 MSSA	15	10	13	14	21	8	12	15	18	21	18	16	6	2	0
黄色ブドウ球菌 MRSA	13	10	14	15	14	10	11	11	9	5	9	16	8	1	0
腸炎ビブリオ	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	1	1	2	0	0	4	8	2	1	0	2	0	0	0	0
ロタウイルス	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
アデノウイルス	0	0	1	2	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ノロウイルス	14	11	6	1	1	0	0	0	0	0	0	4	9	6	7

()は前回集計後に新たに検出された件数を含めて表示しています。

週報②

広島県感染症・疾病管理センター(ひろしまCDC) 感染症週報

令和6年第6週(2月5日~2月11日)

2 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市
一類	0	発生なし	0							
二類	7	結核	7			2	1	1	1	2
三類	1	腸管出血性大腸菌感染症	1					1		
四類	1	レジオネラ症	1			1				
五類	6	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	1						1	
		劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	1						
		水痘(入院例)	1	1						
		梅毒	3	1		1				1

注) 西部…大竹市、廿日市市、府中町、海田町、熊野町、坂町、安芸高田市、安芸太田町、北広島町、江田島市
西部東…竹原市、東広島市、大崎上島町
東部…三原市、尾道市、世羅町、府中市、神石高原町
北部…三次市、庄原市
● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>

週報③

広島市感染症対策協議会・広島市感染症情報センター 広島市感染症週報

令和 6年6週(2月5日～2月11日)

■コメント

1 インフルエンザ

定点当たり34.00人と、前週の約1.3倍に増加し、警報レベル(定点当たり30)を上回りました。
手洗い、咳エチケット、適度な湿度の保持、換気などの感染予防対策を徹底しましょう。

迅速診断キット検査結果(市内2か所の協力医療機関による)
第6週 A型:13人、B型:202人

2 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)

定点当たり11.00人の報告がありました。高齢者や基礎疾患のある方が感染すると重症化リスクも高まります。手洗い、換気、医療機関や混雑した電車・バスでのマスク着用など、基本的な感染予防対策に取り組みましょう。また、体調がすぐれないときは、周囲にも配慮して休養をとりましょう。

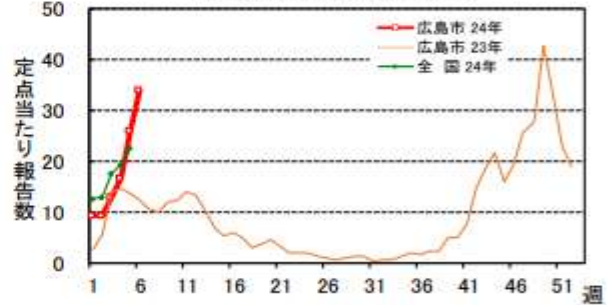
3 感染性胃腸炎

定点当たり11.59人の報告があり、多い状況が続いています。こまめな手洗い、便・吐物の適切な処理、次亜塩素酸ナトリウムを用いた消毒など感染予防対策を徹底しましょう。

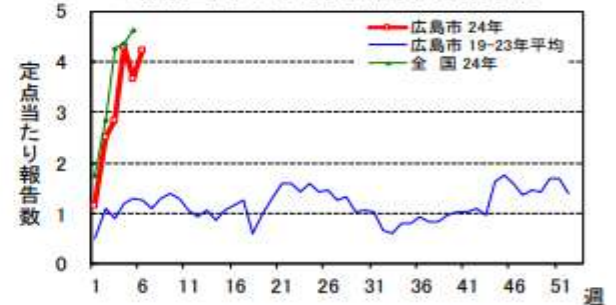
4 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

定点当たり4.23人の報告があり、多い状況が続いています。咳エチケットの励行や手洗いなどの感染予防対策を心がけましょう。

インフルエンザの流行状況



A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の流行状況



■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(注)	過去5年間	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(注)	過去5年間	発生記号	急増減		前週と比較しておおむね1:2以上の増減
														急増	急減	
インフル	インフルエンザ	1190	34.00	10.31		↗	小児科	ヘルパンギーナ	1	0.05	0.07			↑	↓	前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減
	新型コロナ(COVID-19)	385	11.00			↗		流行性耳下腺炎	-	-	0.03			↘	↘	前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減
小児科	RSウイルス感染症	1	0.05	0.20		↘	眼科	急性出血性結膜炎	-	-	0.05			↘	↘	前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減
	咽頭結膜熱	35	1.59	0.19		↘		流行性角結膜炎	8	1.00	0.28			↘	↘	前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	93	4.23	1.24		↗	基幹	細菌性髄膜炎	-	-	-			↘	↘	前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減
	感染性胃腸炎	255	11.59	6.14		↗		無菌性髄膜炎	-	-	0.03			↘	↘	前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減
	水痘	1	0.05	0.25		↘		マイコプラズマ肺炎	-	-	0.06			↘	↘	前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減
	手足口病	8	0.36	0.12		↘		クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-			↘	↘	前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減
	伝染性紅斑	-	-	0.12		↘		感染性胃腸炎(ロタウイルス)	1	0.14	0.09			↘	↘	前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減
	突発性発しん	4	0.18	0.24		↘								↘	↘	前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減
													↘	↘	前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減	

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ/COVID-19定点数(小児科定点を含む)	35
小児科定点数	22
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	1	6	40歳代
3	腸管出血性大腸菌感染症	1	2	10歳未満・O26